レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月5日	使用開始日			
登録診療科	泌尿器科	申請医師	吉田栄宏	化学療法委員会承認年月	平成　30 年　12 月
レジメン名	オプジーボ＋ヤーボイ併用療法				
疾患名	腎細胞がん	適応の備考	化学療法未治療のintermediate又はpoorリスクの腎細胞がん		
適応分類	根治切除不能・転移性				
1コース日数	21　日間	総コース数	4　コース	催吐性リスク	最小度
抗がん剤投与量・投与日	オプジーボ　240mg/body、ヤーボイ　1mg/kg　day1				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																				
	点滴静注			/																						
2	主ルート	生食100mL	1	本 / body		●																				
	点滴静注	オプジーボ	240	mg / body	30 分	●																				
				/																						
3	主ルート	生食50mL	1	本 / body	30 分	●																				
	点滴静注																									
				/																						
4	主ルート	生食50mL	0.4	本 / body		●																				
	点滴静注	ヤーボイ	1	mg / kg	30 分	●																				
				/																						
		生食30mL抜く																								
5	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																				
	点滴静注																									
				/																						

【投与上の注意】
オプジーボ：0．22または0．2μmのインラインフィルターを使用して投与する。
オプジーボ：希釈後の総液量は60mL以上を目安とする。体重30kg以上の場合、生食100mL、体重30kg未満の場合、生食50mLに希釈する。
オプジーボ：希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。
ヤーボイ：0．2～1．2μmのインラインフィルターを使用して投与する。
ヤーボイ：希釈後の最終濃度は1～4mg/mLとする。体重30kg以上の場合生食20mLに希釈する。

【減量基準】

ヤーボイ

・Grade 2の副作用（内分泌障害及び皮膚障害を除く），Grade 3の皮膚障害，症候性の内分泌障害処置
：Grade 1以下又はベースラインに回復するまで投与を延期する。内分泌障害については，症状が回復するまで投与を延期する。
上記基準まで回復しない場合は，投与を中止する。

・Grade 3以上の副作用（内分泌障害及び皮膚障害を除く），局所的な免疫抑制療法が有効でないGrade 2以上の眼障害，Grade 4の皮膚障害処置
：投与を中止する。